

そよかぜだより

2016 7月号

そよかぜ歯科医院のURL
<http://soyokaze-dc.com>



七月(文月)

暑い日々が続くようになっています。そして、各地の山で山開きしました。そんな中で、今年から「山の日」という祝日が増えたのを知っていますか。

八月十一日は、八月初めの国民の日の「山の日」になります。「山の日」は「感謝」「自然」親しむ祝日として、今年から施行されます。山の日が制定されたことにより国民の祝日は年間十五日から十六日に増えました。国民の祝日が増えたのは「海の日」以来で、二十年ぶりだそうです。祝日が増えることは国民にとっては嬉しい事ですが、お盆休みがあるのも初の祝日と重なるとなるとなかなかお休みがとれないですね。

山の日が制定されたことにより、雑誌やテレビなどでも山登りや山について紹介される機会があるかもしれません。興味があれば実際に登ってみるのも楽しいかもしれませんね。

休診のお知らせ

夏季休暇のため

8月11日(木)～15日(月)

休診とさせていただきます。

緊急の場合は、流山市休日診療室へ
お願い致します。(9時～12時)
TEL 04-7155-3456

乳幼児期の口腔内特徴

今回は、乳幼児期の口腔内の特徴についてお話します。幼児期は、1歳から3歳の時期の事を言います。自分で歩き始めることも、脳が著しく成長して言葉や動きなどが発達する時期です。イヤイヤ期や反抗期など、自己中心的・直観的・具体的・情緒的といった自律した行動や発言ができるようになり、自我意識が芽生えるのが特徴です。

この時期になると、離乳完了期に入ります。乳歯が全部生えそろい、随意的に食物を食べるようになります。日常生活の中で、指しゃぶりをしている場合があります。これは、赤ちゃんの時の「吸い」と同じ反射的な行為です。

しかし、3歳以上になっても指しゃぶりをしている場合は、指しゃぶりが原因として、歯並びや咬み合わせに影響が出やすくなります。3歳以上の指しゃぶりの原因として、家庭環境、親子関係などがあります。子どもが指しゃぶりが現れることとあわせて、比較的多いのは、幼児期の頑固な指しゃぶりが単なる癖として残っているのが原因と言われています。また、歯並びや咬み合わせに影響が与えられるか、発音や顎の発達も遅れてしまう可能性があります。

では、指しゃぶりを止めさせるにはどうしたらいいのでしょうか。1歳から2歳までは、指しゃぶりをすることも、発達期のもので問題ありません。あまり神経質になる必要はない。温かく見守ることも大切です。指しゃぶりは母親の胎内からの始まりの動作です。そして、解離が得られるようになるまでです。しかしながら、3歳以上になっても指しゃぶりをしている場合は、指しゃぶらないように言葉で注意する・外遊びや運動をさせる・寝る前の間、手を握ったり、本を読む・眠りながらしゃぶっていたり、親がほめてあげると指しゃぶりが減る場合があります。指しゃぶりを指に吸いこむ・ハンドタオルや手袋を手に吸いこむ方法があります。



指しゃぶりのしぐさ
デンタルハイジーン別冊
口腔機能へのアプローチ
より抜粋

新しいスタッフの紹介

歯科アシスタント 内山めぐみ

初めまして！
5月より、そよかぜ歯科医院で歯科アシスタントとして勤務しております、内山めぐみです。大の猫好きです！
明るい笑顔で元気に頑張っていくたいと思っておりますので、よろしくお願い致します！



院長より

7月に入り、じめじめ、暑い日が続いています。このような気候では、体力が消耗するため、免疫力が低下して体調を崩す方が多いと思います。
このような時にエアコンを使用する方も多いと思います。このエアコンの使い過ぎやエアコン依存症にもなりがちです。症状として頭痛、肩こりなどの血行不良に伴うものや、それに伴う高血圧、心疾患などには脳血管障害などを発症する方もいるようです。
お口の領域でも体調を崩し、歯肉が腫れたり、冷房を顔面局所に受けた結果の神経障害、血行不良に伴う開口不全などの症状を表す方もいらっしゃいます。
この時期、涼むことも必要ですが、血行不良を防止するために、ストレッチ運動をおすすめします。日常ちょっとした空き時間を利用して行なうことをお勧めします。